

群馬県 大泉町

OIZUMI GUNMA



■町の概況

昭和 32 年 3 月 31 日、小泉町と大川村が合併して誕生した本町は、同 35 年首都圏整備法に基づく市街地開発区域（現都市開発区域）の指定を受け、以来工場誘致や市街地整備を積極的に推進し、日本を代表する優良企業が進出しており、北関東でも屈指の工業都市を誇っています。

また、県下の市町村に先駆けて用途地域の指定を受け、土地区画整理事業による優良住宅地の供給をはじめ、街路や公園等の都市施設整備を積極的に進め、個性的で良好な都市景観を実現しているところです。

面積は 17.93 km² で、群馬県内で最も小さな町ですが、工場も多く、町内外から多くの方が働きに来ています。

■町の位置

大泉町は群馬県の東南に位置し、地形は平坦で、東は邑楽町、千代田町に接し、西から北にかけて太田市、南は利根川をはさんで埼玉県熊谷市と隣接しています。

■人口と世帯

昭和 32 年の合併当時の大泉町は人口 19,105 人、3,898 世帯の小さな町でしたが昭和 48 年 11 月には人口が 27,871 人となり、群馬県下の町村の中で第 1 位の人口規模を有する町となりました。その 4 年後の昭和 52 年 3 月には人口が 3 万人を突破し、さらに増加を続け、平成 3 年 6 月には 4 万人を越えました。

本町の急激な人口増は、平成 2 年の出入国管理及び難民認定法（入管法）の一部改正により、南米日系人の企業への就労者が急増したことによるもので、平成に入る前まではほとんど見ることもなかったブラジル国籍の人たちが平成元年には 277 人、その翌年には 821 人と増加を続け、平成 21 年 1 月末にはこれまでに大泉町において最も多い外国人登録者数（7,087 人）と最も高い比率（16.8%）を記録しました。しかし、その後は平成 21 年秋のリーマンショックや、平成 23 年 3 月の東日本大震災などの影響により減少しています。

■大泉町の外国人急増の背景 ～経済危機を迎えた現在まで～

「出稼ぎ」日系人の急増

数々の企業が進出し、従来から「工業の町」として栄えた大泉町。入管法が改正になる前の本町も、工業製造出荷額は順調に伸びていましたが、その一方で、多くの中小企業では慢性的な“労働力不足”の問題に頭を悩ませていました。大手企業ではFA(ファクトリー・オートメーション)化が進行している半面、中小企業のFA化できない『3K(きつい、危険、汚い)』と言われる部門で働く人たちが減少したからです。

人手不足により倒産する工場もある中で、当初中小企業を中心に、アジア系の不法就労者が多く雇用されていました。国内における不法就労者の急激な増加と活動の多様化が懸念される中、平成2年6月に「定住者」の在留資格を新たに整備するという入管法(出入国管理及び難民認定法)の改正が行われました。

“不法就労者本人を罰するだけでなく、彼らの雇用主などに対しても罰則規定を新設する”内容を含むこの改正は、人手不足が深刻化している中小零細企業に大きな波紋を投げかけました。そこで「我が国社会との血のつながり」を考慮した外国人の枠組みである、「日系の2世・3世に対しては、活動や就労を制限しない」という改正入管法のもう一つの内容に多くの企業が着目したのです。

一方で当時のブラジルは、輸出不振など経済情勢が悪化し、途上国最大の債務国となっていました。国内にも急激なインフレの波が押し寄せ、失業者も増大していました。慢性的な労働力不足という問題を抱えていた日本と、不安定経済下のブラジル。相互の経済的背景が重なり、日系人の日本への「出稼ぎ」が増加したのです。

平成元年12月、大泉町内の中小企業が中心となり「東毛地区雇用安定促進協議会」が組織され、合法的かつ安定雇用のできる日系ブラジル人の受け入れを始めました。

全国的に日系人をはじめとする外国人が急増し始める中、「外国人も同じ人間。人道的に迎え入れよう」という考えのもと、日系人の直接雇用を図る協議会の姿勢は国内外で大きな話題となりました。(協議会は平成11年4月に解散)

町では平成2年10月に、町内の小学校に「日本語学級」を設置。2か国語を話せる指導助手を配置しました。さらに、各種手続きや制度を説明するための通訳も採用し、必要な書類等の翻訳を始めたのもこの頃です。

日本での生活が長期化する中で…

平成3年11月にブラジル人をはじめとする外国人を対象に実施したアンケート調査では「これからどのくらい日本に滞在するか?」という問いに、約70%の人が「3年未満」と回答していました。

しかし、それから10年経った平成12年11月の調査においては、「3年未満」が18.6%、「未定」と答えた人は前回の11.0%に比べ66%と大幅に増えました。

その理由は、日本の滞在の「長期化」にあります。長引く母国の経済情勢の中では帰国しても就職することは難しく、日本と同額の収入を得ることはできません。また、当初は「出稼ぎ」として単身で来日した外国人も、結婚し家庭を持つ中で日本の生活期間が母国で過ごした期間を超えるようになりました。

永住権を取得し、一戸建てを求める外国人も増加してきた中、2008年秋に未曾有の世界経済危機が発生。日本の経済は予想を超えた速度で急激に悪化し、国民生活に大きな影響を与えるとともに、間接雇用などの不安定な就労形態で働く南米系外国人の生活を直撃しました。

その影響は大きく、帰国者が増加する一方で、生活基盤が崩壊してもなお帰国することなく日本に留まる選択をする人も多く、外国人住民を生活者として捉えた施策実施の必要性が改めて浮き彫りになっています。

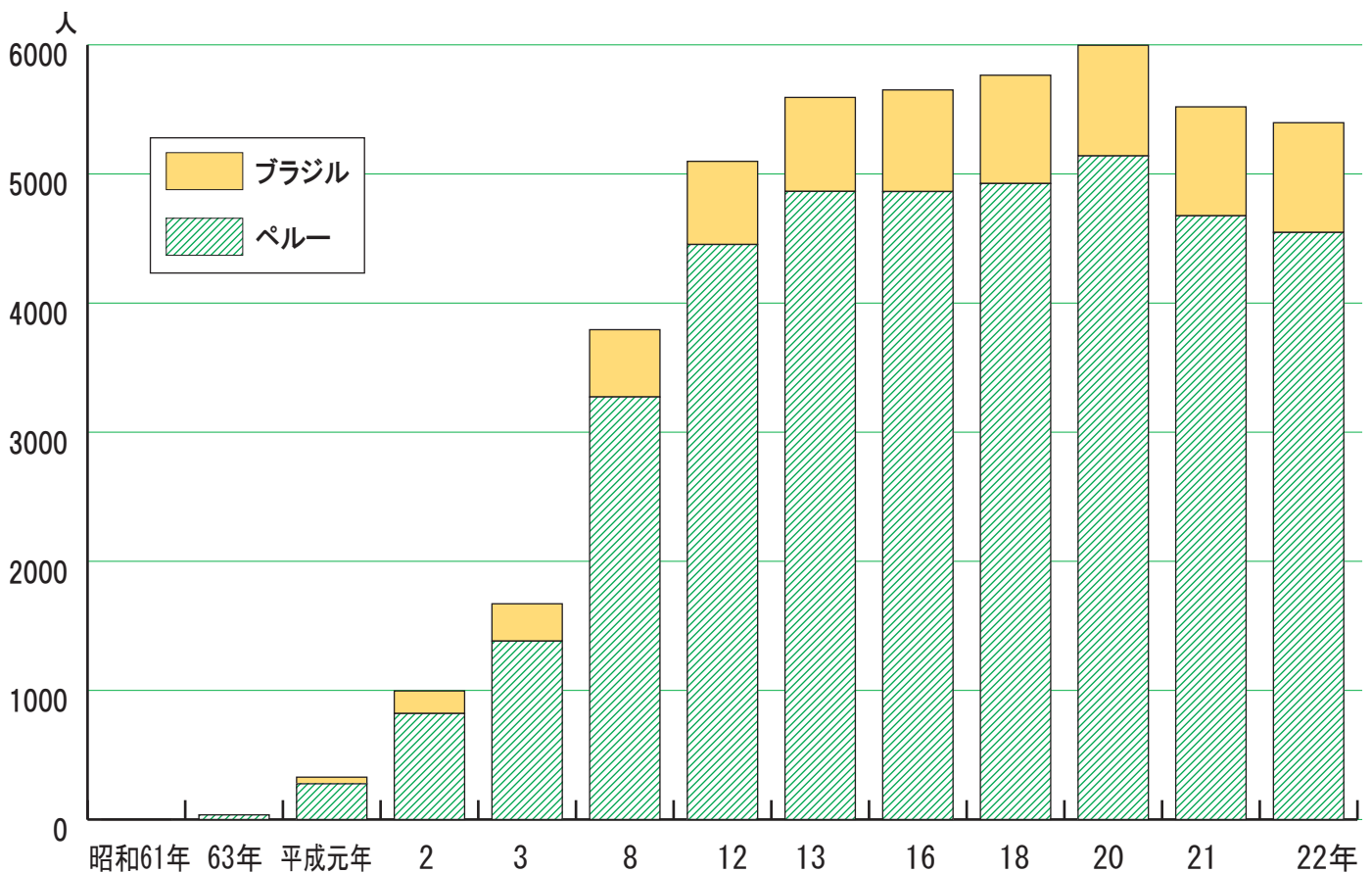
■ 大泉町外国人登録の推移（抜粋）

（単位：人）

国 籍	昭和61年	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成8年	平成12年	平成13年	平成16年	平成18年	平成20年	平成21年	平成22年
ブラジル	0	36	277	821	1,382	3,273	4,454	4,865	4,864	4,926	5,140	4,676	4,547
ペルー	0	0	51	175	289	521	644	728	787	839	857	844	850
韓国及び朝鮮	160	161	151	149	153	147	123	113	119	108	106	106	104
フィリピン	25	35	49	62	64	113	134	185	212	145	157	170	174
中 国	6	14	26	46	130	68	67	72	99	340	348	194	173
ボリヴィア	0	1	0	0	31	21	65	88	94	92	119	112	122
チ リ	0	0	0	0	0	14	33	33	31	33	34	31	33
そ の 他	31	65	69	62	117	146	196	223	266	313	321	291	296
計	222	312	623	1,315	2,166	4,303	5,716	6,307	6,472	6,796	7,082	6,424	6,327
大泉町総人口	37,222	37,788	38,379	39,351	40,470	41,746	42,628	42,833	42,378	42,096	42,295	41,469	41,216
外国人比率(%)	0.6	0.8	1.6	3.3	5.4	10.3	13.4	14.7	15.3	16.1	16.74	15.49	15.35

※各年とも12月31日現在

■ ブラジル人・ペルー人の登録者数推移グラフ



■ 大泉町の主な多文化共生施策

■ 正しい情報を伝えるために

- ・ポルトガル語通訳の配置（通訳、翻訳業務および外国人登録業務）
- ・大泉町多文化共生コミュニティセンター設置（平成 19 年 4 月）



ポルトガル語の通訳が常駐



日本語とポルトガル語による情報（HP）



ガラッパ

- ・ポルトガル語による町の広報紙「GARAPA」を月に一度発行（防災やごみ、水道等の使用方法を詳しく掲載した「特集号」を年に 4 回発行）
- ・ポルトガル語による「大泉町暮らしのガイド」「ごみカレンダー」ほか、さまざまな情報を日本語とポルトガル語で紹介



広報紙「ガラッパ」



大泉町暮らしのガイド



交通安全のルールとマナー ポルトガル語版「ごみカレンダー」



・多文化共生懇談会の開催

町内の外国人店舗や外国人学校に出向き、町の各種制度や生活マナーなどを説明。外国人住民からの質問や意見なども聴取



ブラジルスーパーでの懇談会

・ブラジル領事館をはじめ、関係国領事館との情報交換および連携



ブラジル移動総領事館開催時に「大泉町情報コーナー」を設置

■「地域の生活者としての外国人」への共生事業

- ・日本語講座の開設（国際交流協会主催）
- ・文化庁「生活者としての外国人のための日本語教室」設置に対する支援
- ・大学と連携した多文化共生事業の展開
- ・外国人と協働の防災訓練
（防犯・交通マナー等のPR含む）などの実施
- ・「文化の通訳」登録事業（平成19年8月～）
町からのお知らせや暮らしのマナーなどを、母国語で正しく伝えることのできる「文化の通訳」を育成



外国人参加の防災訓練



習字と日本のマナー講座



護身術と安心安全のまちづくり講座



面接にも役立つ日本語と日本のマナー講座



節約日本料理とごみ減量化講座



■子どもの健全育成を目指した事業

- ・町内ブラジル人学校での各種事業
防災訓練、防犯教室、交通教室をはじめ、新型インフルエンザの予防教室や各体験事業実施



外国人学校生徒対象の田植え体験



外国人学校対象の新型インフルエンザ
予防教室



外国人学校対象の防犯・交通教室

■他自治体との連携、国や関係機関への働きかけ、その他緊急的な対応

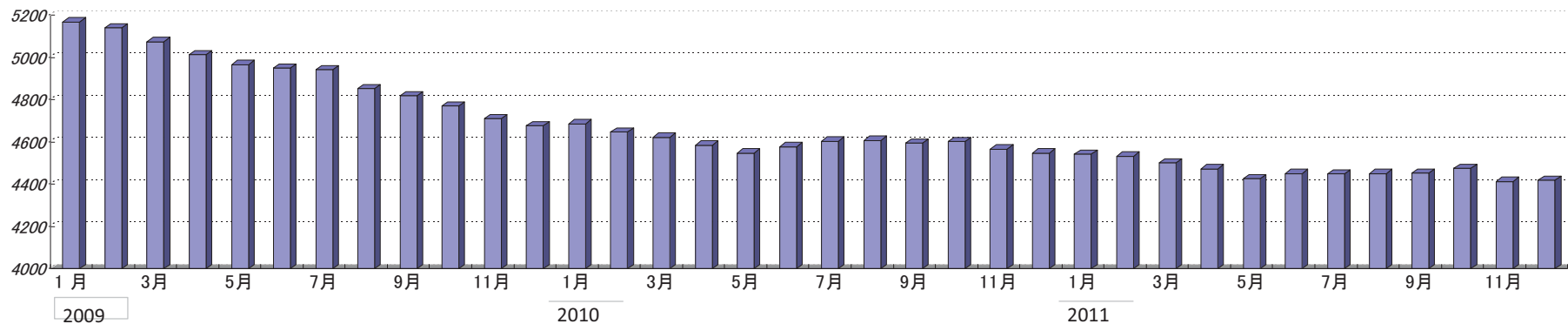
- ・外国人集住都市会議での取り組み（現在、浜松市、太田市等をはじめ28都市が参加）
国や県、関係機関への提言・共通課題の研究および検討
- ・関係省庁やブラジル領事館等、関係機関への働き掛け
- ・「南米系外国人への緊急アンケート調査」実施（平成21年1月）
急激な経済悪化の中で、外国人の置かれた状況等を把握し、課題を整理するために実施

大泉町外国人登録者数とブラジル国籍者のグラフ(2009年1月末～2011年12月末)

各月とも末日現在の数字、()は前月比

国籍	2009年												2010年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ブラジル (前月比)	5,167 (+27)	5,140 (-27)	5,074 (-27)	5,013 (-61)	4,965 (-48)	4,948 (-17)	4,942 (-37)	4,852 (-90)	4,818 (-34)	4,770 (-48)	4,711 (-59)	4,676 (-35)	4,686 (+10)	4,646 (-40)	4,622 (-24)	4,585 (-37)	4,548 (-37)	4,578 (+30)	4,603 (+25)	4,607 (+4)	4,594 (-13)	4,601 (+7)	4,566 (-35)	4,547 (-19)
ペルー	858	870	865	874	866	867	868	859	857	852	841	844	849	844	840	848	855	852	864	868	856	855	857	850
フィリピン	158	156	160	158	159	162	165	162	167	172	169	170	179	182	181	182	180	175	180	178	175	177	174	174
中国	327	316	297	280	246	244	211	202	207	204	201	194	177	174	169	168	164	167	161	159	161	158	169	173
ボリビア	117	116	115	110	109	103	108	107	113	114	110	112	117	117	117	117	120	124	124	127	128	130	130	122
韓国及び朝鮮	105	105	104	105	107	105	104	103	104	105	105	106	105	105	105	106	103	102	102	102	102	102	102	104
その他	355	352	344	329	322	317	311	315	318	320	327	322	313	317	327	336	339	338	343	342	342	345	353	357
計	7,087 (+5)	7,055 (-32)	6,959 (-96)	6,869 (-90)	6,774 (-95)	6,746 (-28)	6,709 (-37)	6,600 (-109)	6,584 (-16)	6,537 (-47)	6,464 (-73)	6,424 (-40)	6,426 (+2)	6,385 (-41)	6,361 (-24)	6,342 (-19)	6,309 (-33)	6,336 (+27)	6,377 (+41)	6,383 (+6)	6,358 (-25)	6,368 (+10)	6,351 (+10)	6,327 (-24)
総人口	42,275	42,275	42,015	42,008	41,929	41,916	41,880	41,750	41,717	41,654	41,548	41,469	41,393	41,374	41,286	41,278	41,262	41,302	41,320	41,316	41,273	41,293	41,289	41,216
外国人比率(%)	16.8	16.7	16.6	16.4	16.2	16.1	16	15.8	15.8	15.7	15.6	15.5	15.5	15.4	15.4	15.4	15.3	15.3	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4

国籍	2011年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ブラジル (前月比)	4,543 (-4)	4,533 (-10)	4,501 (-32)	4,473 (-28)	4,427 (-46)	4,450 (+23)	4,449 (-1)	4,451 (+2)	4,453 (+2)	4,475 (+22)	4,413 (-62)	4,419 (+6)	
ペルー	855	853	852	849	852	847	853	846	851	852	846	855	
フィリピン	168	166	163	165	168	168	174	172	180	179	183	188	
中国	156	161	153	148	130	137	139	136	135	131	132	137	
ボリビア	121	125	130	131	133	131	124	126	127	123	123	125	
韓国及び朝鮮	104	104	103	103	104	104	103	103	103	104	107	107	
その他	369	359	355	360	377	376	371	386	397	399	403	406	
計	6,316 (+11)	6,301 (-15)	6,257 (-44)	6,229 (-28)	6,191 (-38)	6,213 (+22)	6,213 (±0)	6,220 (+7)	6,246 (+26)	6,263 (+17)	6,207 (-56)	6,237 (+)	
総人口	41,192	41,151	41,074	41,083	41,092	41,133	41,176	41,169	41,196	41,212	41,140	41,099	
外国人比率(%)	15.3	15.3	15.2	15.2	15.1	15.1	15.1	15.1	15.2	15.2	15.1	15.2	



9

大泉町外国人登録者数等の資料

(平成23年12月31日現在)

	国名	外国人登録者数 ()は前月比 単位:人	登録者数に 占める割合 単位:%
第1位	ブラジル	4,419 (+6)	70.9
第2位	ペルー	855 (+9)	13.7
第3位	フィリピン	188 (+5)	3.0
第4位	中国	137 (+5)	2.2
第5位	ボリビア	125 (+2)	2.0
第6位	韓国及び朝鮮	107 (±0)	1.7
	その他	406 (+3)	6.5
	計(全50か国)	6,237 (+30)	100.0

※ 大泉町の総人口 41,099 人 (総人口に占める外国人比率 15.2%)

※ 100 人以上の国を掲載

※ ()内の減少数については再入国取り消しを含む

【参考】

■ 大泉町外国人登録の推移(抜粋)

年 国籍	昭和 61年	昭和 63年	平成 元年	平成 2年	平成 3年	平成 8年	平成 16年	平成 18年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年
ブラジル	0	36	277	821	1,382	3,273	4,864	4,926	4,893	5,140	4,676	4,547	4,419
ペルー	0	0	51	175	289	521	787	839	818	857	844	850	855
韓国及び朝鮮	160	161	151	149	153	147	119	108	106	106	106	104	107
フィリピン	25	35	49	62	64	113	212	145	167	157	170	174	188
中国	6	14	26	46	130	68	99	340	378	348	194	173	137
その他	31	66	69	62	148	181	391	438	434	474	434	357	531
計	222	312	623	1,315	2,166	4,303	6,472	6,796	6,796	7,082	6,424	6,327	6,237
総人口	37,222	37,788	38,379	39,351	40,470	41,746	42,378	42,096	42,101	42,295	41,469	41,289	41,099
外国人比率	0.6	0.8	1.6	3.3	5.4	10.3	15.3	16.1	16.1	16.7	15.5	15.3	15.2

※各年とも12月31日現在

東日本大震災等に関する (南米系) 外国人へのアンケート調査 集計結果

平成 23 年 10 月

■調査目的

未曾有の被害をもたらした平成 23 年 3 月 11 日発生 of 東日本大震災。大泉町においても震度 5 強という、日本人住民でさえも今まで体験したことのない大きな揺れに不安を感じた中、外国人住民がどのように行動したか、また緊急時の情報をどのように得たか等を緊急調査し、情報提供の方法やあり方を整理するとともに、国や関係機関への提言資料とする。

■調査期間

平成 23 年 8 月 12 日～8 月 31 日 (20 日間)

■調査対象者

大泉町内在住・在勤をはじめとする南米系外国人
(大泉町内のブラジル店舗来訪者含む)

■調査方法

下記の場所において、「無記名の自己記入式アンケート調査」を実施。

- ① 大泉町多文化共生コミュニティセンター、大泉町役場
- ② 大泉町内ブラジル人学校 (3 校)
- ③ 大泉町内ブラジルスーパーなど各種店舗

■サンプル数

調査協力者 260 人

群馬県大泉町

アンケートにご協力ください Contamos com sua colaboração

男性 Masculino ・ 女性 Feminino

年齢 Idade :

No.

1	お住まいは? Aonde voce mora? A 大泉町 Oizumi B 太田市 Ota C その他 (Outros.Onde?)
2	あなたの家族の人数は? Quantas pessoas compõem a sua família? 同居している家族 (moram juntos) _____ 人 pessoas 子どもの年齢 Idade dos filhos menores que 18 anos ※18歳以下の子どもについてお答えください ____ 才 anos (学校名 Nome da escola) ____ 才 anos (学校名 Nome da escola)
3	現在の住まいは? Que tipo de moradia é a sua? A アパート Apartamento B 持ち家 casa própria C その他 Outros ()
4	日本での滞在年数は? Quanto tempo está no japão? 通算年数 (somando o todo) _____ 年 Anos _____ か月 meses
5-1	日本語はできますか? Fala a lingua japonesa? A できる (通訳がいなくとも話せる) Falo (não preciso necessariamente de um tradutor) B 少しできる (通訳が必要) Falo pouco (necessito de tradutor) C できない Não falo
5-2	日本語は読めますか? Lê o japonês? A 日本の新聞も読める Consigo ler jornal japonês B 漢字以外の簡単な日本語は読める Não leio kanji, mas consigo ler algumas palavras simples C 読めない Não leio nada
6	3月11日の地震のとき、あなたはどこにいましたか? Aonde estava no dia do terremoto ocorrido em 11 de março? A 仕事場 (店・会社・学校・その他 _____) No trabalho (loja,empresa,escola,outros) B 自宅の家中 Dentro de minha casa C 自宅以外の建物の中 Dentro de construção sem ser minha casa D 車に乗っていた Dentro do carro em movimento E バスや電車に乗っていた Dentro de onibus, trem. F その他 Outros ()
7	3月11日の地震で揺れているとき、あなたはどんな行動をとりましたか? Que atitude tomou durante o abalo do terremoto do dia 11 de março? A すぐに建物の外に出た Saí logo para fora da construção B 倒れそうなものを押さえた Segurei o que estava para cair C 机の下などにかくれた Entrei embaixo da mesa,etc D 車を止めて様子をみた Parei o carro e fiquei observando ao redor E 何もできなかった Não tive nenhuma reação F その他 Outros ()
8	3月11日の大きな揺れの最中、どんなことを考えましたか? O que passou pela sua cabeça durante o terremoto?
9	3月11日の地震直後、地震に関する情報は何で得ましたか? Como obtive as informações sobre o terremoto do dia 11 de março, logo após a sua ocorrência? A 日本のテレビニュース Noticiário de TV japonesa B 日本のラジオニュース Noticiário da rádio japonesa C インターネット Internet D 携帯電話のニュース Noticiário através do celular E 友人や知人からの電話 Por telefone a amigos e conhecidos F 噂など Comentários e “boatos” G 何もわからなかった Não tive nenhuma informação G その他 Outros ()
10	3月11日の夜、あなたはどこで過ごしましたか? Aonde passou a noite do dia 11 de março? A 自宅 Em minha casa B 車の中 どの? Dentro do carro (Local?) C ブラジル人学校 Escola brasileira D 町の避難所 (体育館など) Instituição Municipal(quadra,etc) F 友人や親せきの家 Casa de amigos,parentes. G その他 Outros ()

11	今回の大きな地震後に、あなたが一番困ったことは何ですか？ Qual foi o maior problema que enfrentou após este grande terremoto?	
12	地震を経験した後に、あなたの生活は変わりましたか？ A sua vida cotidiana mudou após a experiência do terremoto?	A 変わった。どんなところが？ Mudou Como: () B 変わらない Não mudou C その他 Outros ()
13	多文化共生コミュニティセンターのホームページでは、地震に関する情報なども掲載していますが、見たことはありますか？ O Centro Comunitário de Oizumi fornece informações sobre terremoto, etc., na home page. Você já chegou a acessar?	A 見たことがある Já acessei. B 見たことがない Nunca acessei C 見る方法がわからない Não sei como acessar D その他 Outros ()
14	現在、地震に関するニュースは何で情報を得ていますか？ (3つ選んでください) Atualmente você obtém informações sobre o terremoto?(escolha até 3 alternativas)	A 日本のテレビニュース Noticiário de TV japonesa B 日本のラジオニュース Noticiário de rádio japonesa C インターネットのニュース Noticiário da internet D 携帯電話のニュース Noticiário pelo celular E 友人や知人からの電話 Telefone a amigos ou conhecidos F 噂など Comentários e boatos G 多文化共生コミュニティセンターのホームページ Home page do Centro Comunitário de Oizumi H その他 Outros ()
15	被災地や被災者のために、あなたが実行したことを教えてください (いくつでも良いです) O que você fez pelas pessoas ou pela região atingida pela calamidade(assinale todas as alternativas que se enquadram na sua resposta)	A 義援金 Doação monetária B 救援物資を提供した Doação em produtos C ボランティアに行った Foi como voluntário D その他 Outros () E 特に無い Nada em especial
16	これから被災地や被災者のために、あなたはボランティアをしてみようと思いませんか？ Você pensa em participar como voluntário para ajudar as pessoas ou regiões atingidas pela calamidade?	A 機会があれば、ボランティアがしたい Se houver oportunidade, penso em ser voluntário B 特に考えていない Não penso nada específico C その他 Outros ()
17	今後の地震に備えて、あなたはどんなことを身につけたいですか？ (いくつでも良いです) O que você deseja saber, pensando nos futuros terremotos? (assinale todas as alternativas que se enquadram na sua resposta)	A 何を準備したら良いか、知りたい O que é bom deixar preparado? B どこに避難したら良いか、知りたい Aonde poderia abrigar-me? C 救命講習(AEDの使い方など)を受けたい Gostaria de aprender sobre os primeiros socorros (como usar o AED, etc) D 防災訓練に参加したい Gostaria de participar de treinamento de prevenção de calamidades E その他 Outros ()
18	その他、地震や災害について、質問や不安なことがあったら、書いてください。 Se tiver outras dúvidas ou inseguranças a respeito de terremoto, calamidades, por favor escreva ao lado.	

東日本大震災等に関する外国人へのアンケート集計結果

● 回答者総数 単位：人

男	95
女	135
無回答	30
計	260

● 年齢

10代	20	7.7%
20代	36	13.8
30代	73	28.1
40代	60	23.1
50代	50	19.2
無回答	21	8.1
計	260	100.0

1 回答者の居住地

単位：人

大泉町	159
太田市	50
その他	46
無回答	5
計	260

伊勢崎市…8、館林市…5、邑楽町…4
行田市ほか埼玉県内…21人、その他

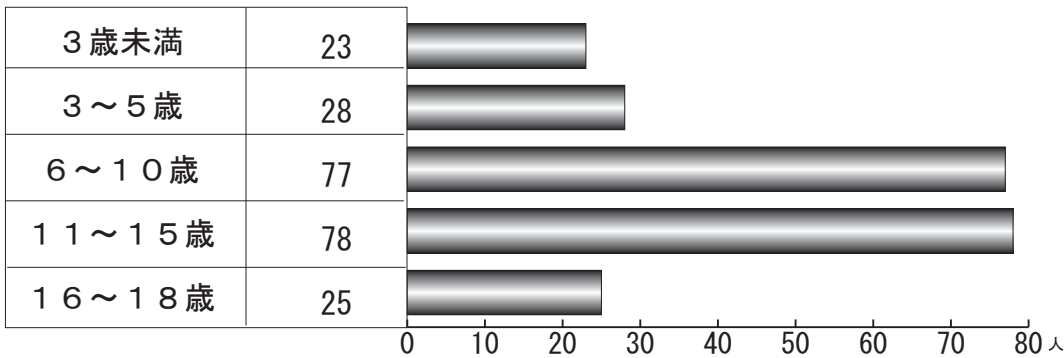
2 家族の人数

単位：人

1人	33
2人	49
3人	69
4人	68
5人～	23
無回答	18
計	260

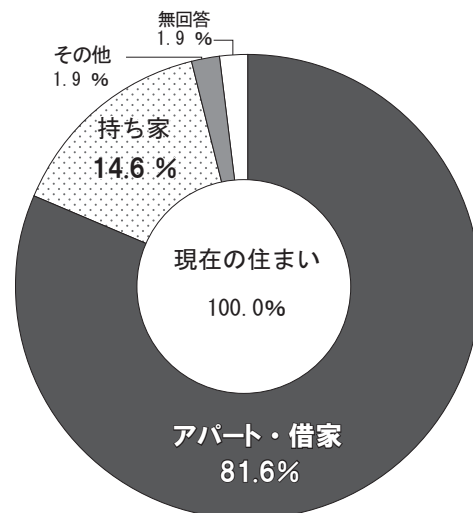
● 子どもの年齢

単位：人



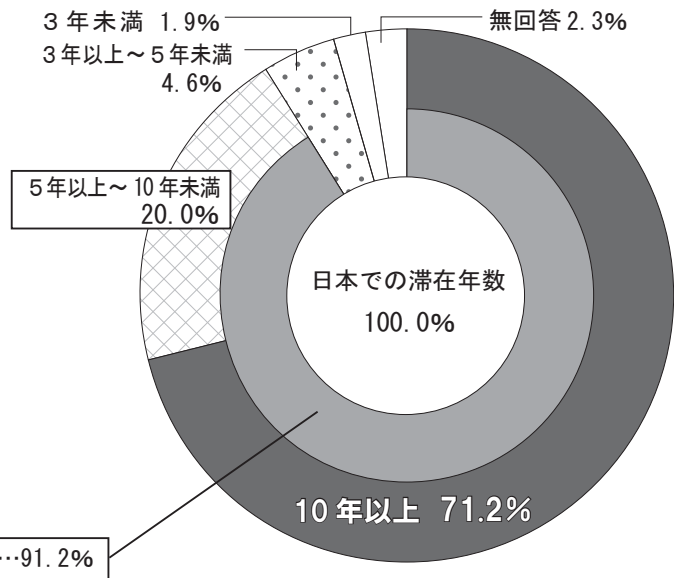
3 現在の住まいについて

アパート・借家	212	81.6%
持ち家	38	14.6
その他	5	1.9
無回答	5	1.9
計	260	100.0



4 日本での滞在年数

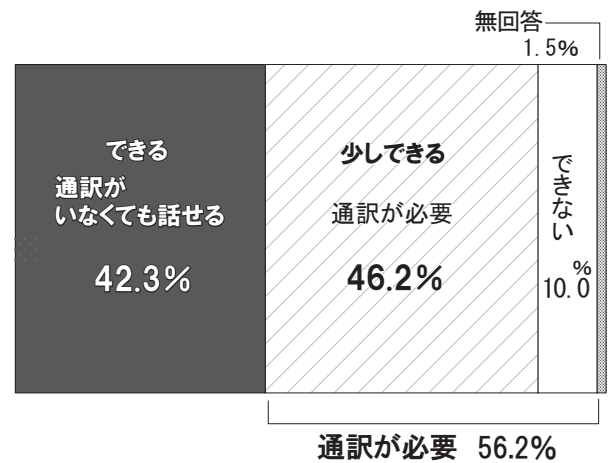
	人	%
3年未満	5	1.9
3年以上～5年未満	12	4.6
5年以上～10年未満	52	20.0
10年以上	185	71.2
無回答	6	2.3
計	260	100.0



5 日本語について

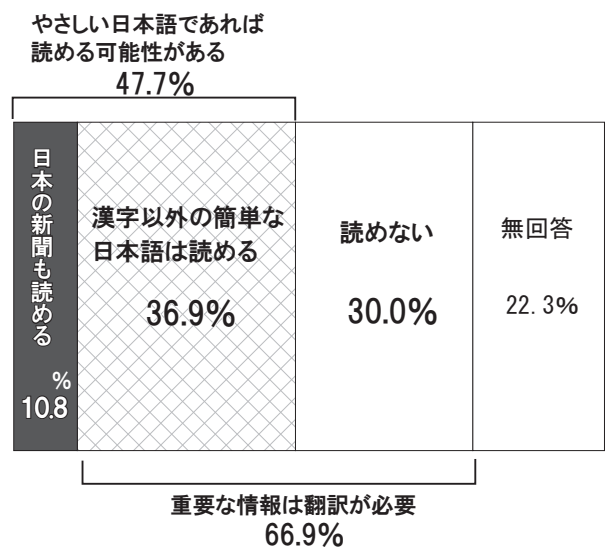
日本語での会話はできる？

	人	%
できる（通訳がいなくても話せる）	110	42.3
少しできる（通訳が必要）	120	46.2
できない	26	10.0
無回答	4	1.5
計	260	100.0



日本語の読み書きはできる？

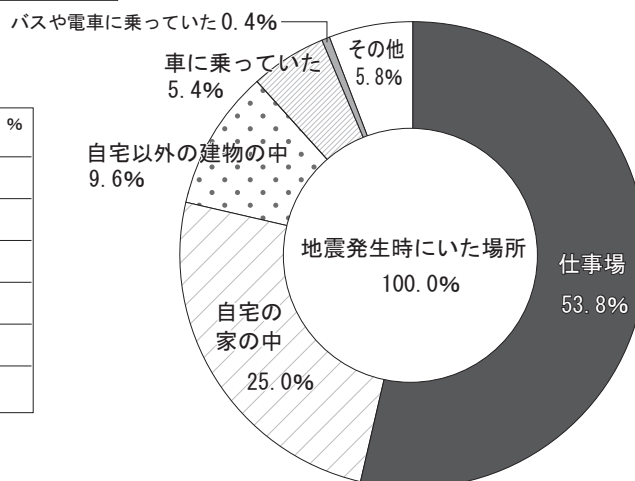
	人	%
日本の新聞も読める	28	10.8
漢字以外の簡単な日本語は読める	96	36.9
読めない	78	30.0
無回答	58	22.3
計	260	100.0



2011年3月11日発生 of 東日本大震災に関する設問

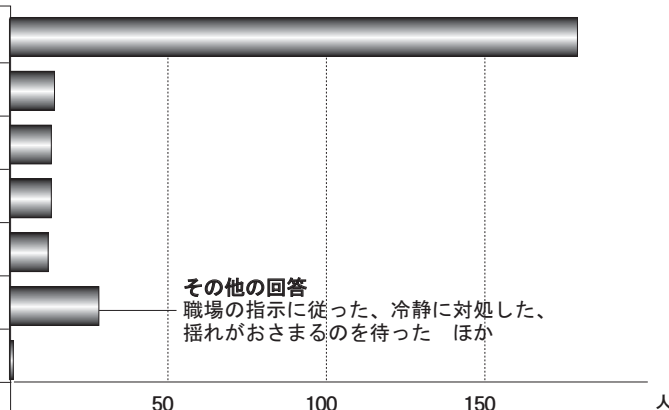
6 3月11日の地震発生時、どこにいた？

仕事場	140 人	53.8 %
自宅の家の中	65	25.0
自宅以外の建物の中	25	9.6
車に乗っていた	14	5.4
バスや電車に乗っていた	1	0.4
その他	15	5.8
計	260	100.0



7 地震で揺れているとき、どんな行動をとった？

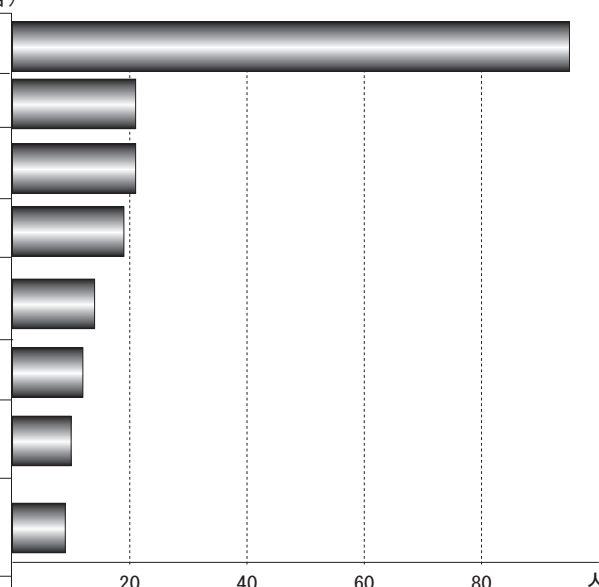
すぐに建物の外に出た	179 人	68.8 %
机の下などにかくれた	14	5.4
倒れそうなものを押さえた	13	5.0
車をとめて様子を見た	13	5.0
何もできなかった	12	4.6
その他	28	10.8
無回答	1	0.4
計	260	100.0



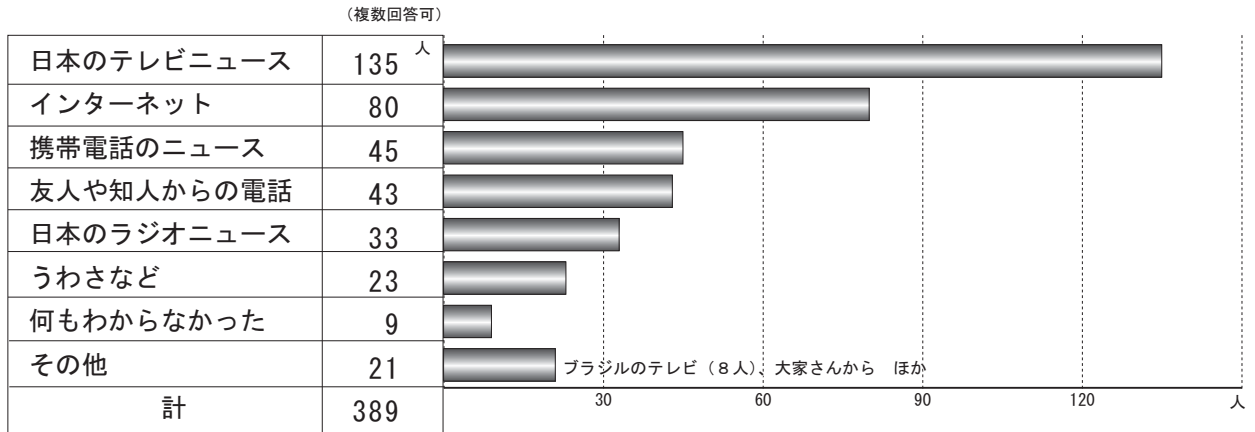
8 大きな揺れの最中、どんなことを考えた？

(自由記述、複数回答)

1位	子どもや家族、友人の安否	95 人
2位	恐怖、驚き、不安、心配	21
2位	この世の終わり、地球の終わりだと思った 死ぬかと思った	21
4位	物が落下する、何もかも壊れてしまう	19
5位	パニックで何も考えられなかった 混乱した、何もできなかった	14
6位	神様のことを考え、祈った	12
7位	安全に外に出る方法や逃げることに 身を守ることに	10
8位	落ち着くようにした 冷静になるように努力した	9
その他	何もしなかった 早く揺れがおさまってほしい 東海地震が来たと思った 阪神淡路大震災が再び来たと思った 震源はどこかと思った 帰国したいと思った 台風が来たのかと思った ほか	

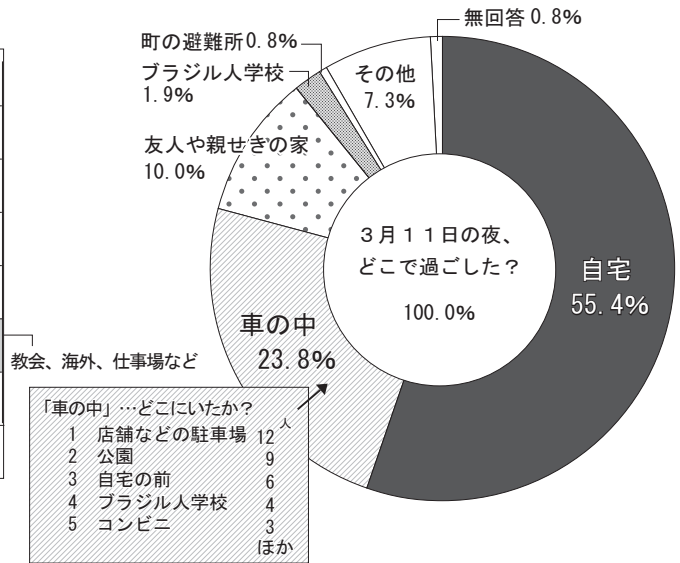


9 3月11日の地震に関して、何で情報を得た？

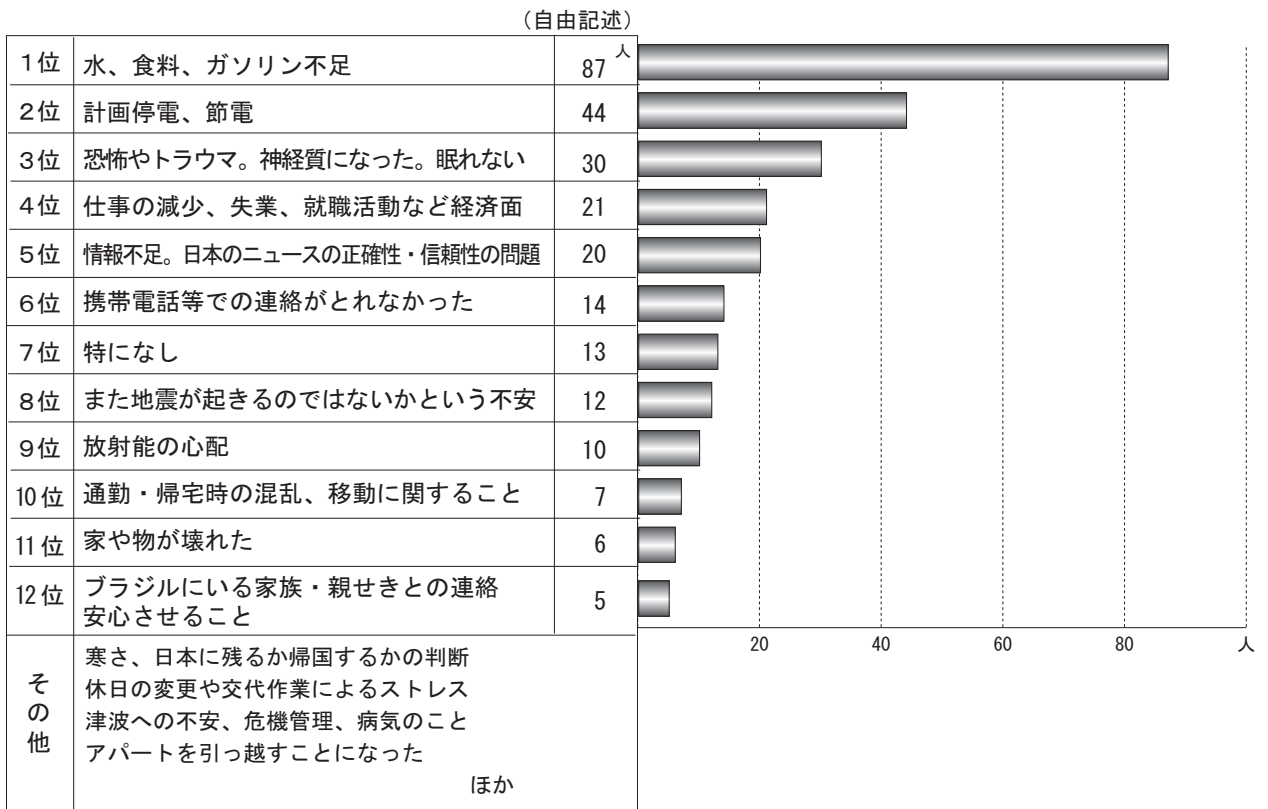


10 3月11日の夜、どこで過ごした？

自宅	144人	55.4%
車の中	62	23.8%
友人や親せきの家	26	10.0%
ブラジル人学校	5	1.9%
町の避難所 (体育館など)	2	0.8%
その他	19	7.3%
無回答	2	0.8%
計	260	100.0%

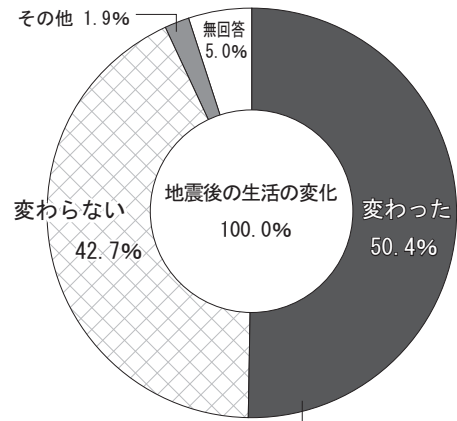


11 地震直後に一番困ったことは？

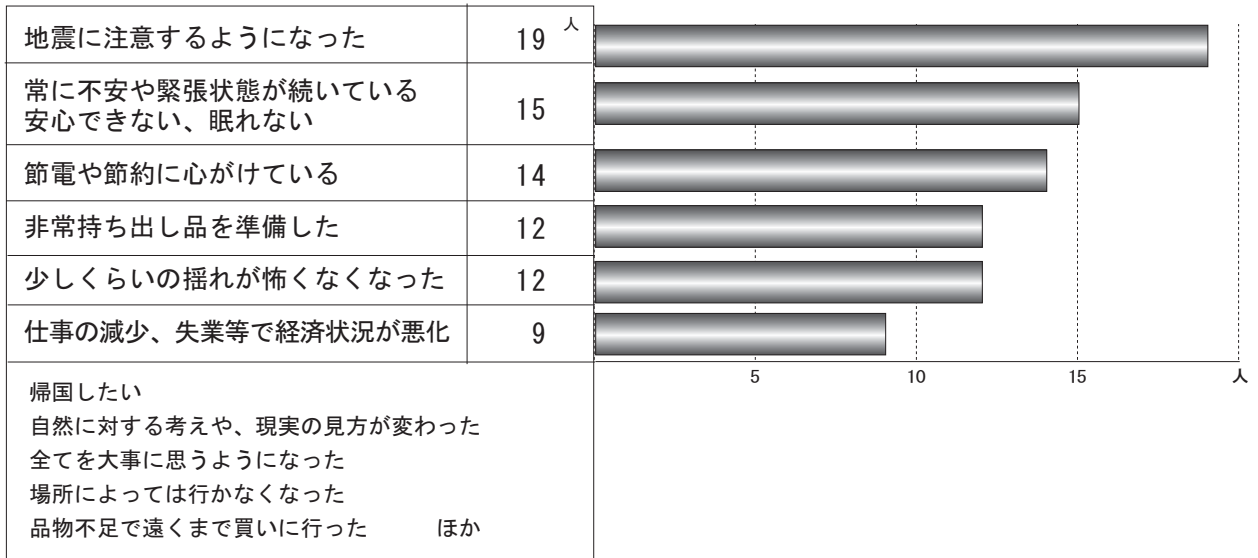


12 地震後、生活は変化した？

変わった	131 人	50.4 %
変わらない	111	42.7
その他	5	1.9
無回答	13	5.0
計	260	100.0

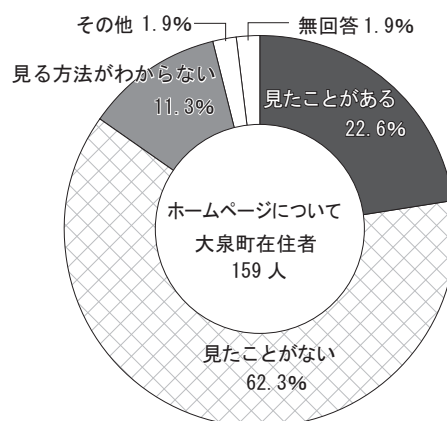
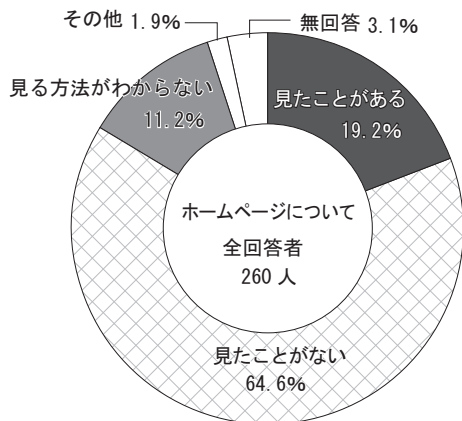


▶ どんなところが変わった？ ◀



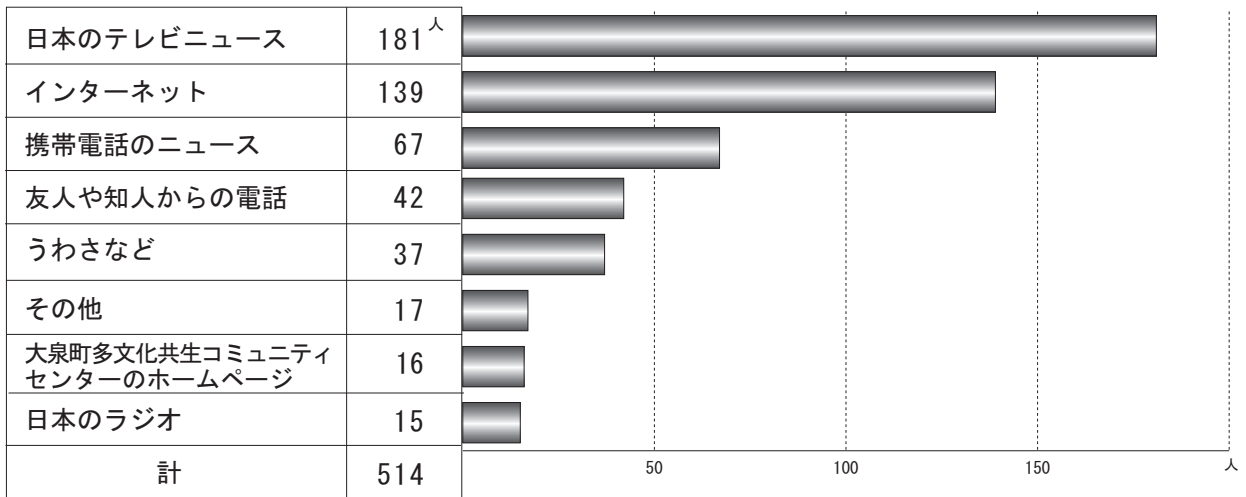
13 大泉町多文化共生コミュニティセンターのホームページは見たことある？

			うち大泉町在住者の回答	
見たことがある	50 人	19.2 %	36 人	22.6 %
見たことがない	168	64.6	99	62.3
見る方法がわからない	29	11.2	18	11.3
その他	5	1.9	3	1.9
無回答	8	3.1	3	1.9
計	260	100.0	159	100.0



14 現在、地震に関する情報は何で得ている？

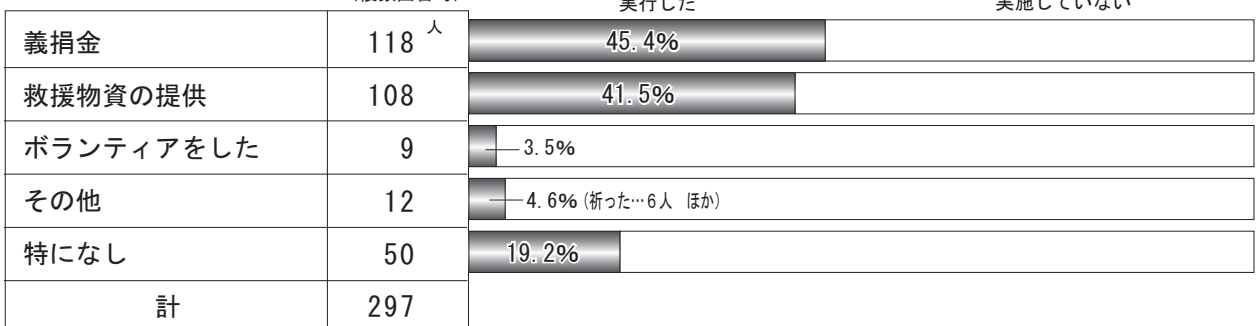
(3つを選択)



15 被災地や被災者のために、何を実行した？

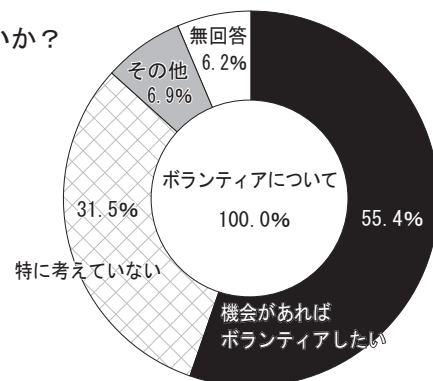
(複数回答可)

260人中に占める割合



16 これから被災地や被災者のためにボランティアをしてみたいか？

機会があればボランティアしたい	144人	55.4%
特に考えていない	82	31.5%
その他	18	6.9%
無回答	16	6.2%
計	260	100.0%

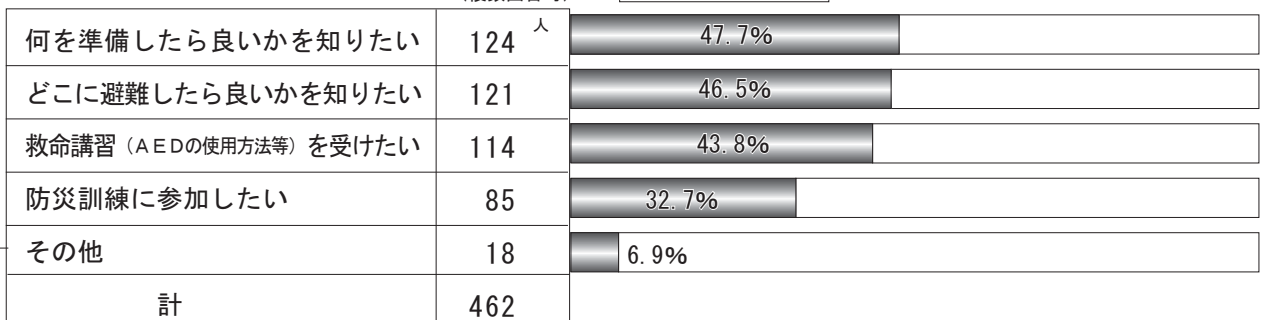


「その他」回答者
時間がない、経済的に不可能、子どもがいるため ほか

17 今後の地震に備えて、身につけたいことは？

(複数回答可)

260人中に占める割合



「その他」回答者
特になし…7人 ほか

18 地震などの災害についての質問や不安なこと等（自由記述）

放射能・原発に関すること 12人

[内訳]

- ・ 正確な放射線量について
- ・ 放射能の安全性や注意すべきこと、子どもへの影響について
- ・ 「健康に影響ない」と言いながら、なぜ食品を販売禁止にするのか（食品の安全性について）
- ・ 脱原発は実施されるのか
- ・ 日本政府はどこまで本当のことを言っているのか
- ・ 原発事故が起こった際の対応方法について（避難訓練などはあるか） ほか

避難訓練や避難に関すること 12人

[内訳]

- ・ 避難場所や防災訓練などの情報について
- ・ 救命講習や被災者を助ける訓練、方法について
- ・ 訓練だけで準備が完璧と言えるのか ほか

情報に関すること 5人

[内訳]

- ・ 地震などの情報を早めに知らせる方法があればいい
- ・ 母国語での正確な情報が知りたい ほか

その他 14人

[内訳]

- ・ 東海地震など、次の大地震が心配
- ・ 不安や恐怖を感じている
- ・ 今後の地震に備えた、日本政府の対策について
- ・ がれきの片付けはどこに頼むのか
- ・ 建物はどの程度の揺れに耐えられるか
- ・ （津波などにより）両親を失った子どもはどうなるか
- ・ 本アンケートに協力できてうれしい ほか

■東日本大震災等に関する（南米系）外国人へのアンケート調査集計結果
大泉町役場企画部国際協働課

群馬県邑楽郡大泉町日の出 55-1 電話 0276-63-3111（代表） E-mail : kokusai@town.oizumi.gunma.jp

三重・滋賀・岡山ブロック「行動計画」に関する資料

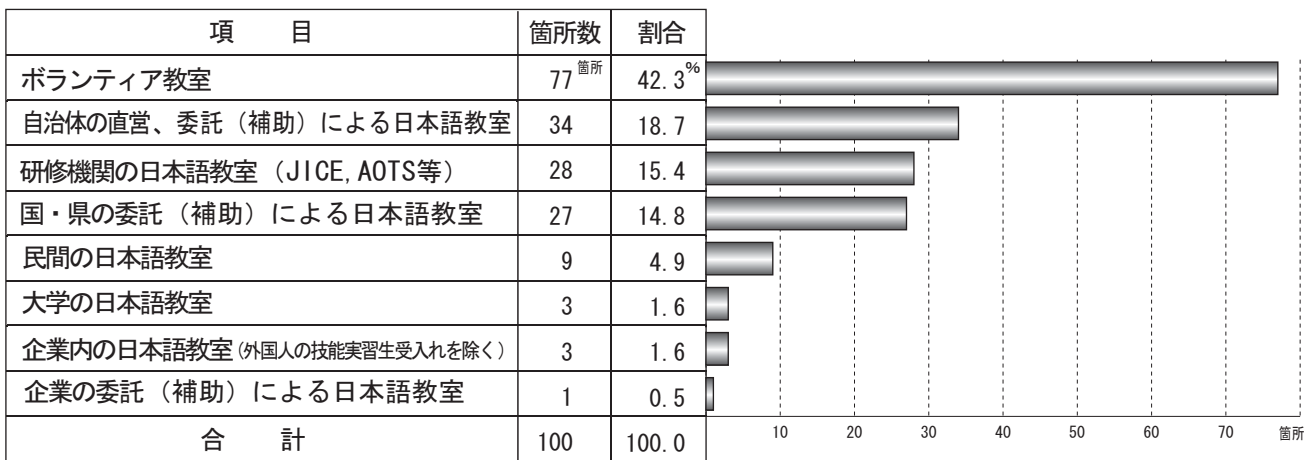
■「日系定住外国人施策に関する行動計画」の検証に係る調査（抜粋）

内閣府が策定した「日系定住外国人施策に関する行動計画」の検証にあたり、当ブロックが担当する「日本語で生活できるための施策」及び「安定して働くための施策」について、各自治体の現状と課題を明確にし、より実効性の高い計画となるための検証を行うため、調査を実施した。

調査概要

- ・外国人集住都市会議会員 28 都市で実施及びその都市がある県
- ・基準日は平成 23 年（2011 年）4 月 1 日とする。

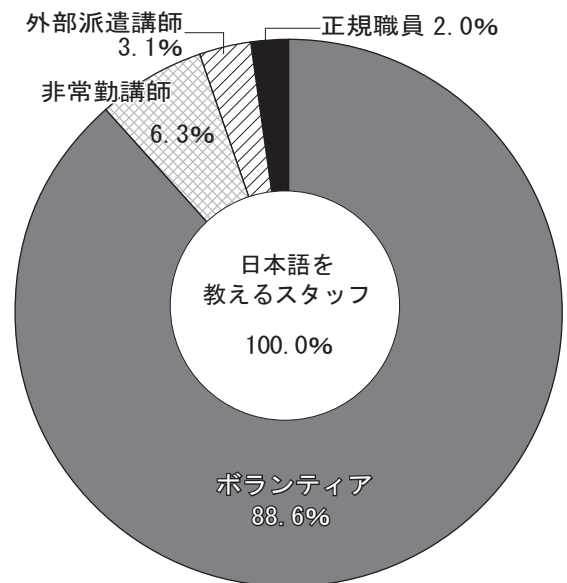
1. 日本語教室の運営形態



有効回答 182 箇所の運営形態は、「ボランティア教室」77 箇所（42.3%）で最も多く、次いで「自治体の直営、委託（補助）による日本語教室」34 箇所（18.7%）、「研修機関の日本語教室（JICE、AOTS 等）」28 箇所であった。

2. 日本語を教えるスタッフ

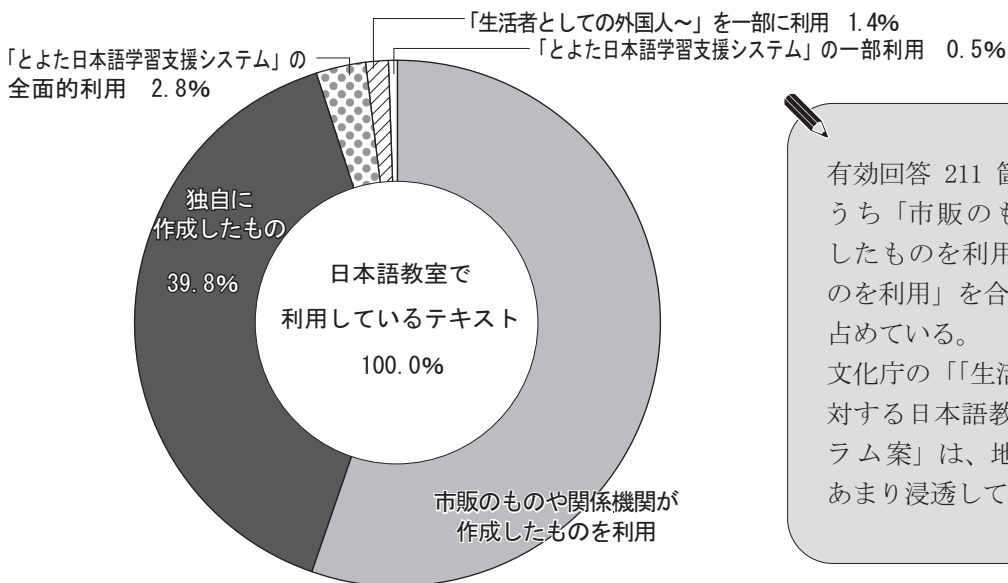
項目	人数	割合
ボランティア	1,495 ^人	88.6%
非常勤講師	107	6.3
外部派遣講師	52	3.1
正規職員	33	2.0
合計	1,687	100.0



有効回答 182 箇所の日本語教室のうち、日本語教えるスタッフは「ボランティア」が 88.6%で最も多く、2009 年度に行った同様の調査においても「ボランティア」が最も多く、依然として日本語教室の多くはボランティアにより支えられていることがうかがえる。

3. 日本語教室で利用しているテキスト

項目	箇所数	割合
市販のものや関係機関が作成したものを利用	117	55.5%
独自に作成したものを利用	84	39.8%
「とよた日本語学習支援システム」の全面的利用	6	2.8%
「生活者としての外国人に対する日本語教育標準的なカリキュラム案」を一部に利用	3	1.4%
「とよた日本語学習支援システム」の一部利用	1	0.5%
「生活者としての外国人に対する日本語教育標準的なカリキュラム案」を全面的に利用	0	0.0%
合計	211	100.0%



有効回答 211 箇所（複数回答あり）のうち「市販のものや関係機関が作成したものを利用」、「独自に作成したものを利用」を合わせて、全体の 95% を占めている。

文化庁の「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案は、地域の日本語教室にはあまり浸透していない。

4. 「導入教育（オリエンテーション）」の実施状況

項目	都市数	割合
実施している	10 ^{都市}	35.7%
今後において実施する予定	1	3.6%
過去に実施していたが、現在は実施していない	3	10.7%
実施していない	14	50.0%
合計	28	100.0%

現在、オリエンテーションを実施している都市は 10 都市であるが、前回（2010 年）の調査では 17 都市と大幅に減少している。行った同様の調査においても「ボランティア」が最も多く、依然として日本語教室の多くはボランティアにより支えられていることがうかがえる。

